



# 令和5年度国東市学力調査の 結果について

## R5 国東市学力定着状況調査結果

## 小学校

偏差値

小学校	国語		算数		理科	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用
1年生	48.6	52.5	49.9	50.8		
2年生	52.7	52.1	53.5	54.8		
3年生	49.0	50.0	49.8	50.1		
4年生	52.6	52.9	54.0	54.2	53.2	53.9
5年生	53.1	54.3	52.7	54.3	51.7	53.6
6年生	51.5	51.6	52.7	53.1	51.1	51.7

は、偏差値50以上の項目

R4  
29 / 30 → R5  
26 / 30

偏差値

中学校	国語		社会		数学	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用
1年生	52.4	51.1	50.3	51.6	51.4	52.4
2年生	51.2	52.7	49.7	50.1	53.0	51.5
3年生	50.9	50.5	48.6	46.7	48.2	49.1
	理科		英語			
	知識	活用	知識	活用		
1年生	50.9	51.5	49.6	48.1		
2年生	51.0	49.8	47.9	48.3		
3年生	46.7	45.7	48.3	49.8		

は、偏差値50以上の項目

R4  
12 / 30 → R5  
16 / 30

偏差値

	国語		算数		理科	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用
1年生						
2年生	2.8	1.4	2.1	3.6		
3年生	-2.7	-2.0	-3.5	-2.7		
4年生	0.9	-0.5	0.5	2.2		
5年生	0.0	2.1	-0.7	1.5	0.6	1.5
6年生	1.4	0.1	-1.7	-0.9	-1.9	0.5

は、昨年度偏差値を上回った項目

R4  
15 / 24 → R5  
14 / 24

# 同一集団経年比較（偏差値の比較）

中学校

偏差値

	国語		社会		数学	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用
1年生	-0.1	-1.3			-2.0	-1.0
2年生	1.3	2.2	1.3	1.5	3.7	0.8
3年生	1.8	1.2	0.1	-2.2	-0.6	0.6
	理科		英語			
	知識	活用	知識	活用		
1年生	0.7	0.6				
2年生	2.5	1.4	0.3	0.9		
3年生	-1.4	-1.8	-2.7	-1.6		

は、昨年度偏差値を上回った項目

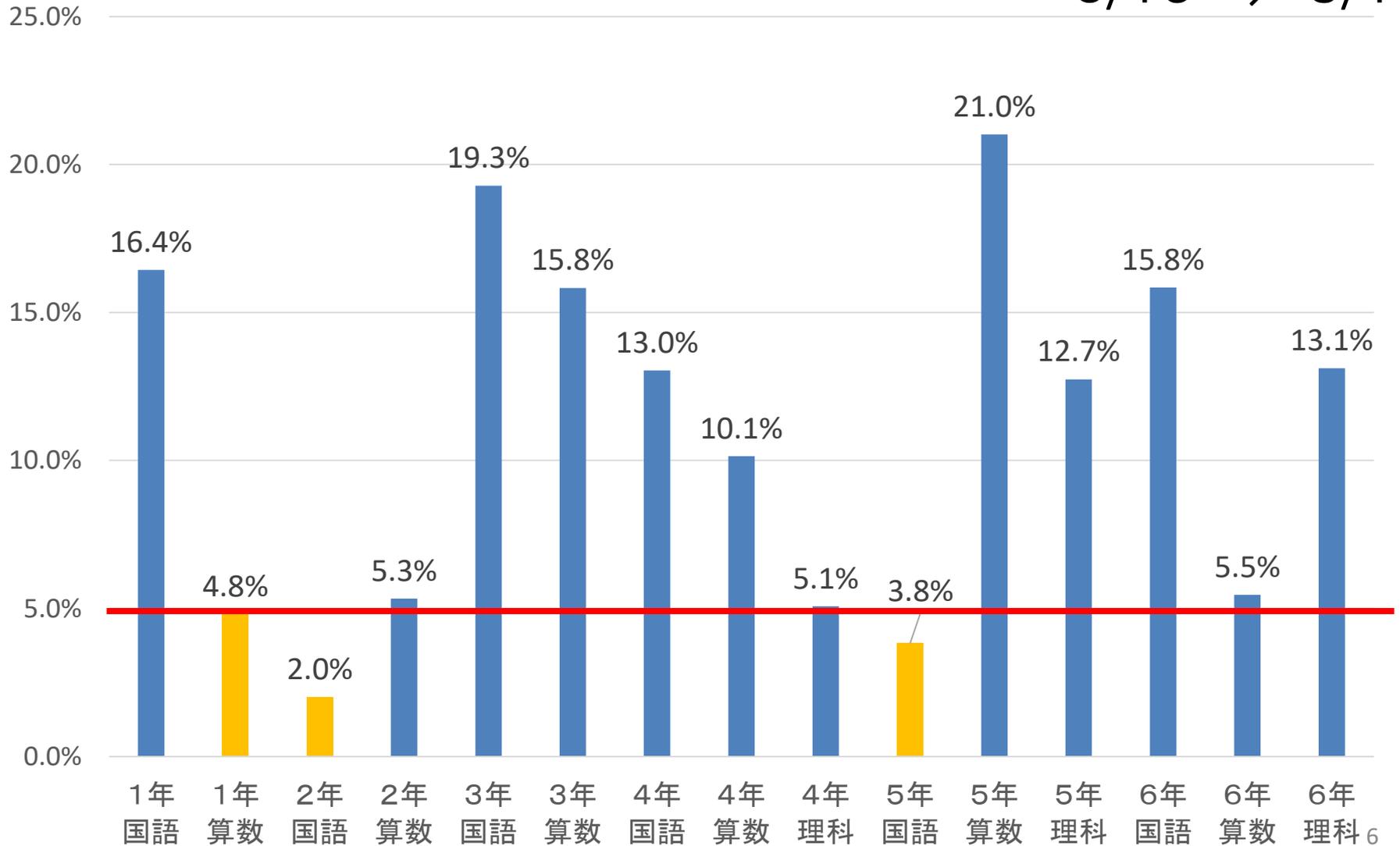
R4  
6 / 26 → R5  
16 / 26

# 正答率度数分布（小学校）

5割未満出現率

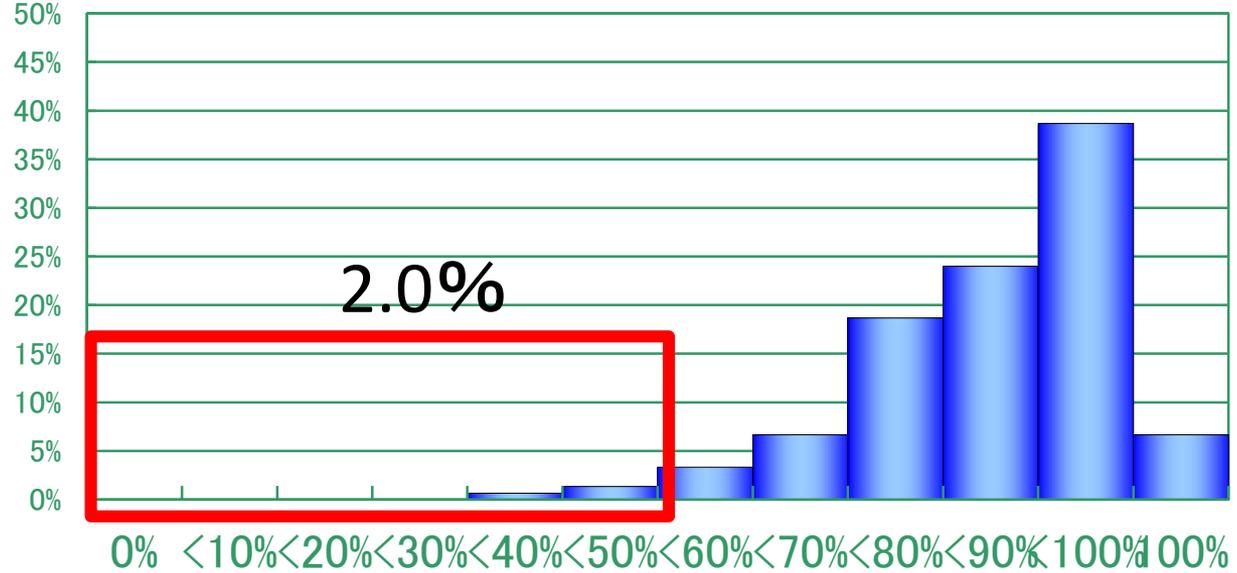
合計達成教科

6/15 → 3/15



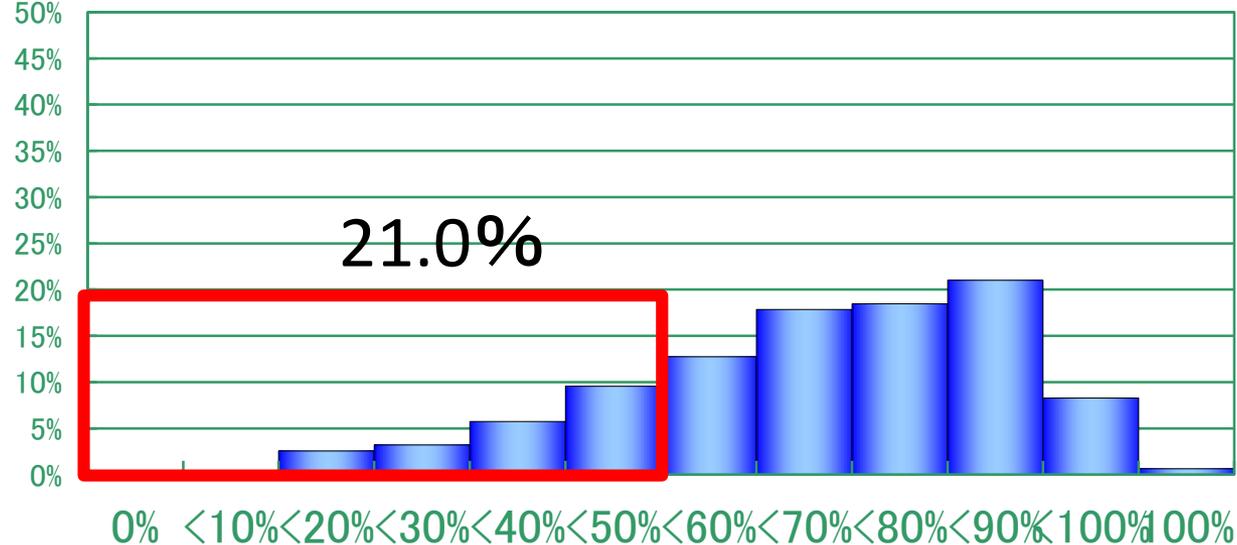
2年  
国語  
52.6

★正答率度数分布



5年  
算数  
53.5

★正答率度数分布

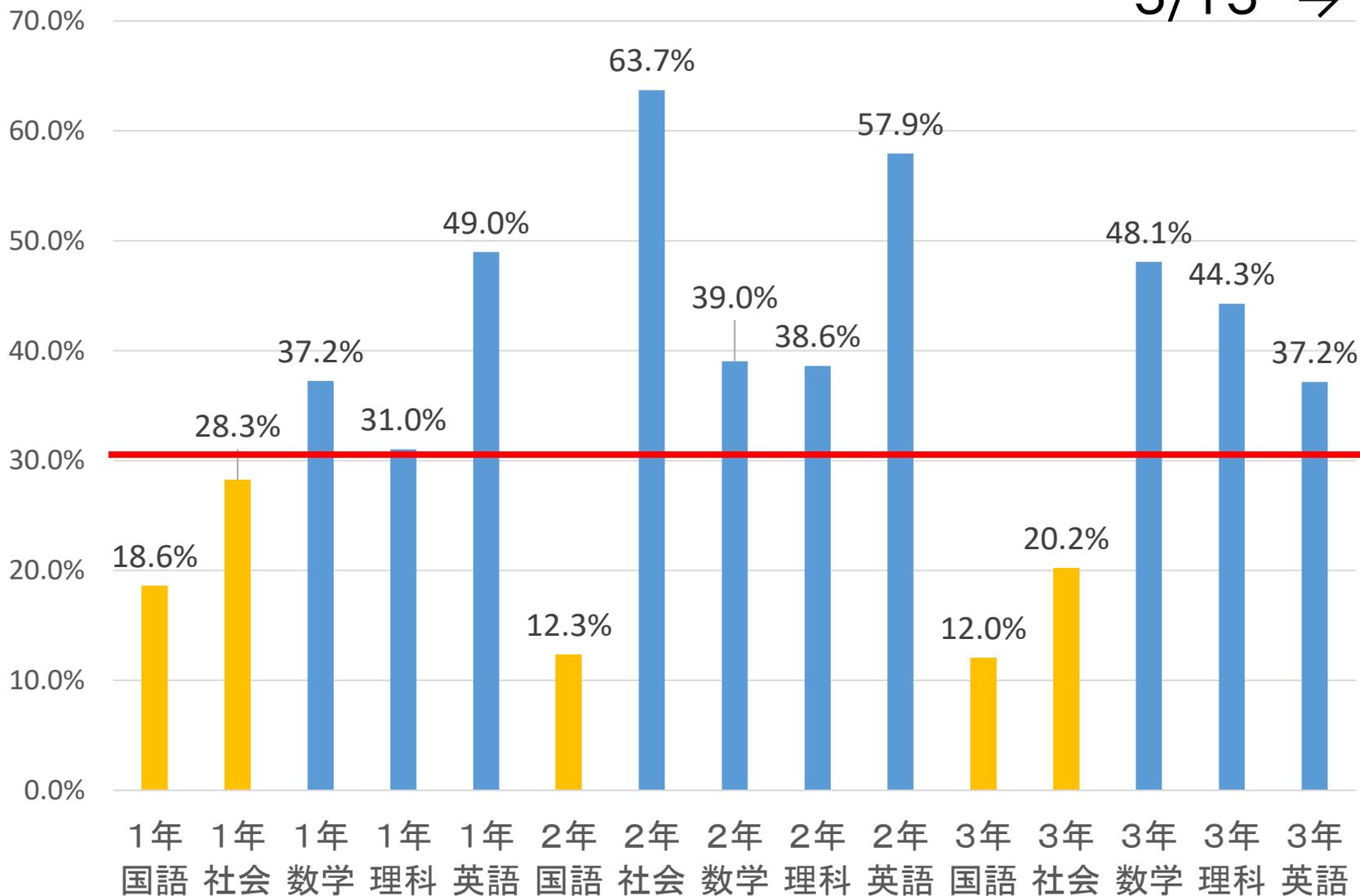


# 正答率度数分布（中学校）

5割未満出現率

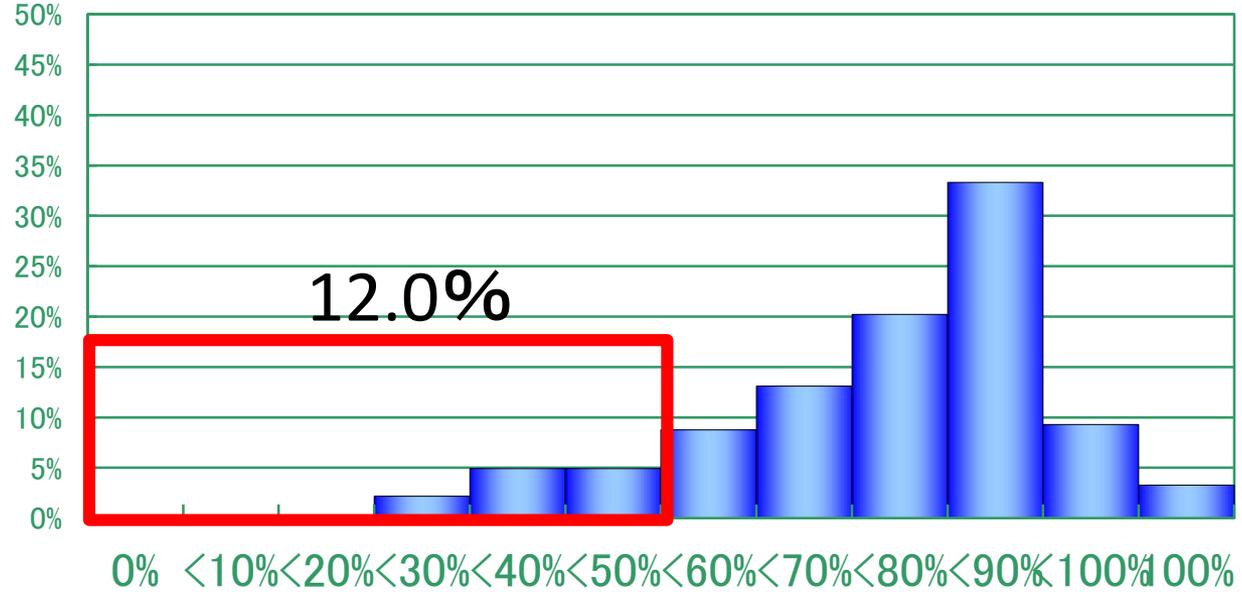
合計達成教科

5/15 → 5/15



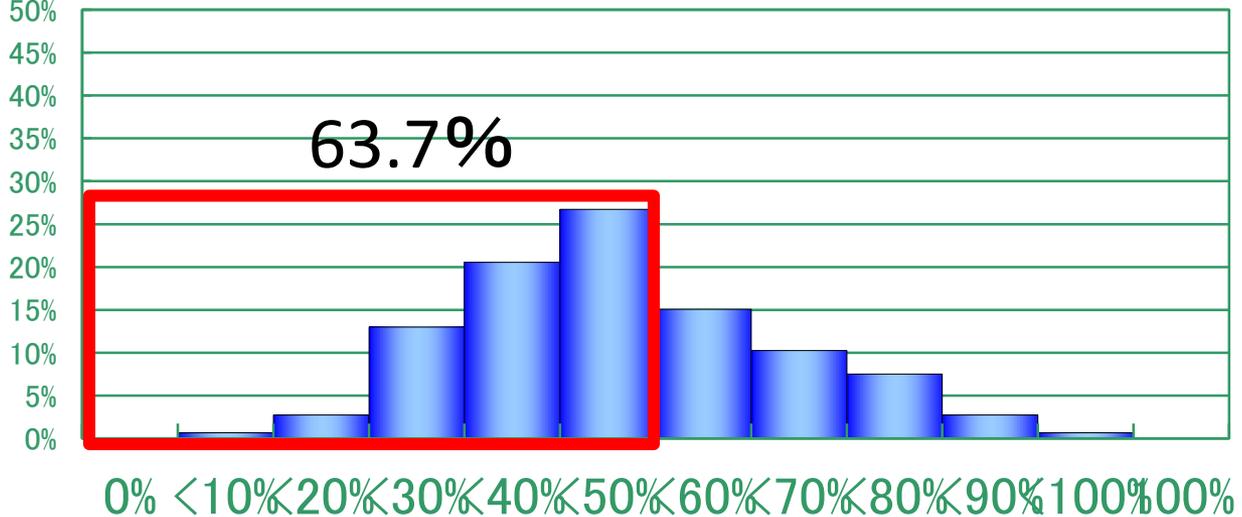
3年  
国語  
50.8

★正答率度数分布



2年  
社会  
49.8

★正答率度数分布



# 今年度の結果より①

- 全国平均を上回った項目は小26/30、中16/30だった。(R4は小29/30、中12/30)  
→小学校は減少したが、中学校は4項目増加した。
- 同一集団の偏差値経年比較では小14/24、中16/26の項目で前年度を上回った。(R4は15/24、中6/26)  
→小学校では過半数以上で前年度を上回っている。中学校は10項目も前年度を上回っている。



中学校においてしっかりと伸ばすことができている。

前年度のうちに課題に対応し、付けたい力が明確な授業が実践されていると考えられる。

## 今年度の結果より②

- 正答率が5割未満の児童の出現率5%以下の教科は3/15、正答率が5割未満の生徒の出現率30%以下の教科は5/15だった。(R4 小学校6/15、中学校5/15)

授業の展開の工夫により全員参加の授業を

展開する必要がある。

個別の支援のさらなる充実の必要性がある。

同一教科内における授業改善に向けた協議や実践事例の共有が必要である。